

福岡・九州の食を海外へ

福岡フードビジネス協議会 活動紹介

2026年2月27日

福岡フードビジネス協議会
副会長 緒方 哲哉

(三栄興産株式会社 代表取締役)



1. 福岡フードビジネス協議会について

2. 協議会の取組み

- ・ 定例会での情報交換、勉強会開催
- ・ 展示会共同出展、海外フェア

3. 加工食品クラスター輸出緊急対策事業を活用した取組み

- ・ 事業に取り組んだきっかけ
- ・ 展示会共同出展・共同営業

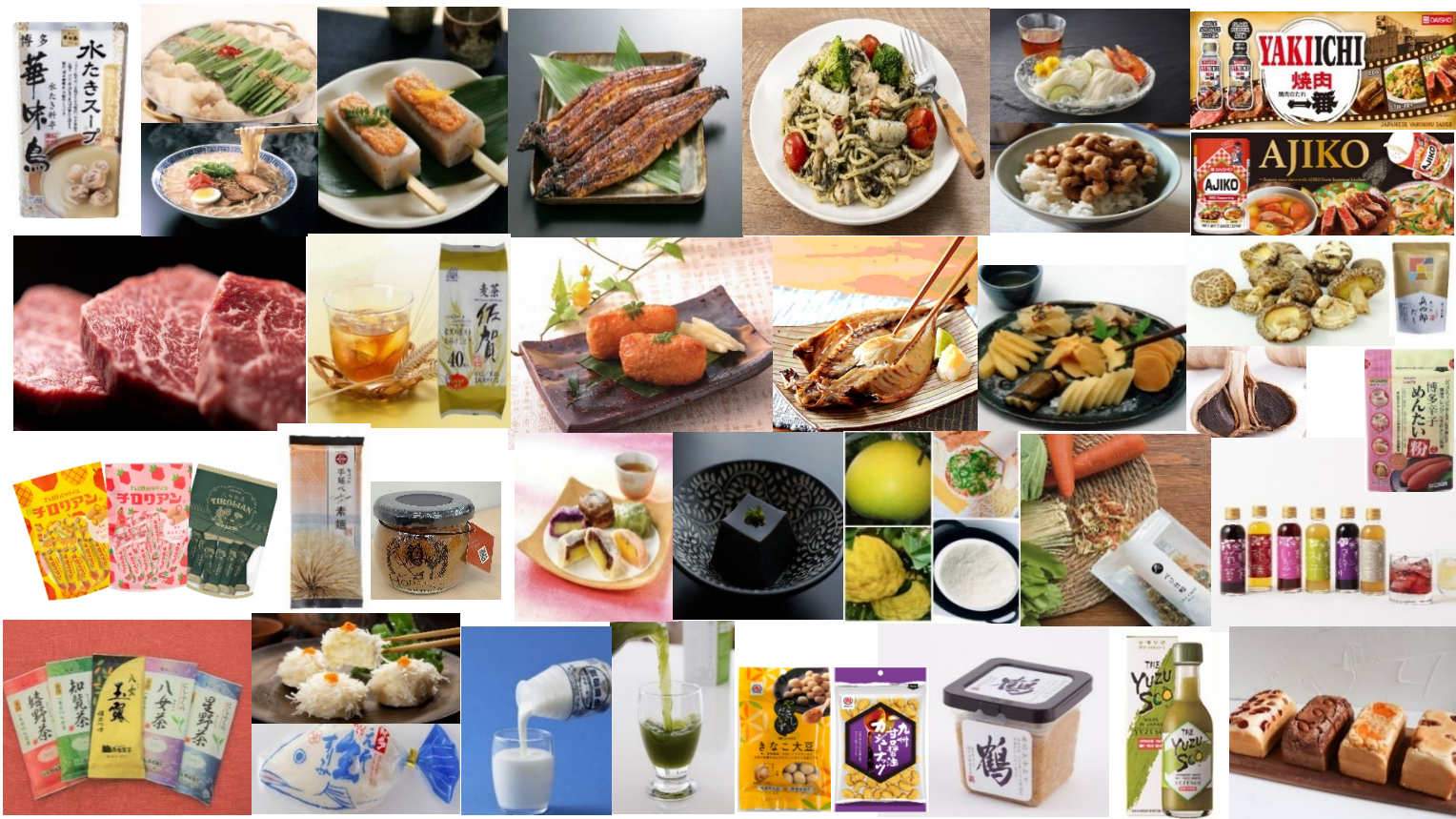
4. 今後の課題

協議会の概要

- 目的
福岡・九州の食料品製造企業が相互に連携して、九州内で生産・製造した食料品に九州産品としてのブランド価値を付与することにより、海外販路開拓を図り、もって地域経済の活性化を図る
- 設立
2012年6月26日
- 活動内容
 - ・ 会員間連携支援（定例会での情報交換、会員企業訪問等）
 - ・ 共同営業（共同出展、会員企業提案の自主企画等）
 - ・ 広報活動（ホームページの運営）
 - ・ 各種情報提供

会員が主体となって営業活動
自主企画の枠組みで、
会員企業からの企画提案を支援

会員企業 (37社※2026年1月時点)



(福岡県 25社、佐賀県 2社、長崎県 3社、熊本県 3社、宮崎県 3社、鹿児島県 1社)



- ・ 定例会
年**10**回開催
- ・ 勉強会
- ・ 会員企業訪問

フードエキスポ九州



九州の食品事業者向け展示商談会に初回（2014年）から参加
2025年は協議会から**15**社が共同出展

海外でのフェア（マカオ）



＜商社機能を持つ会員企業による自主企画＞
マカオニューヤオハンでの九州食品フェア
(2025年3月)
※2026年も3月に実施予定

加工食品クラスター輸出緊急対策事業（2024年～）

- きっかけ コロナの影響等で海外営業に参加する企業が減少
 ⇒海外営業費用の助成により参加企業の増加を目指し
 事業への取組みを開始
- 目標 約5億5,600万円（2024年度）
- ターゲット 世界16の国・地域（2024年度）
- 活動内容 海外展示会共同出展・共同営業（2024年度）
 国内展示会共同出展（2024・2025年度）
 現地市場視察・勉強会（2025年度）
 国内イベントでのテストマーケティング（2025年度）
 共同営業資料作成（2024・2025年度）

国内外展示会共同出展

ジャパンパビリオンでの共同出展

- SIAL Paris 2024
- GULFOOD 2025



FOODEX JAPANへの共同出展

福岡商工会議所ブースとの共同ブース

FOODEX JAPAN 2025 14社

FOODEX JAPAN 2026 15社が出展



アメリカ向け勉強会



地元系 San Francisco



日系 Los Angeles



地元系 Los Angeles



※各社でそれぞれ資料作成・発表

- アメリカ向け輸出の状況について
- 各企業からの現地視察報告
(シアトル、ロサンゼルス、サンフランシスコ、ニュージャージー等)

世界観光ガイド連盟総会参加



来場者（外国人観光ガイド）に対して、試飲・試食提供し、商品に関するアンケートを実施

今後の課題

目標達成状況 2024年度目標 約5億5,600万円

⇒実績見込み 約5億6,300万円 **目標達成**

【今後の課題】

- ・ 会員企業の海外販路拡大により、ターゲット国・地域が多様化
各社の戦略・商品特性が異なり、方針を一つに固めるのが難しい
- ・ 海外展示会共同出展のハードルが高いため、
海外共同営業の事業企画には工夫が必要



Kyushu Food to the world !

【お問合せ（事務局）】

福岡市経済観光文化局海外ビジネス支援課

電話 092-711-4829

メール intl-biz@city.fukuoka.lg.jp